

## 平成22年度全国学力・学習状況調査について

平成22年4月20日（火）に、中学校3年生を対象として、「平成22年度全国学力・学習状況調査」が行われました。調査は、文部科学省が調査対象として抽出した学校と、希望利用による学校で行われました。広島市は抽出校以外も希望利用による全小中学校の調査を実施しました。本校も抽出されませんでした。希望利用で調査に参加しました。内容については昨年同様国語A、国語B、数学A、数学Bの教科に関する調査と、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査です。このほど、その調査結果が発表されましたので、国語、数学の教科についてご報告いたします。

傾向としては、国、広島県ともに、国語A、数学Aが国語B、数学Bに比べ平均正答率が高く、知識・技能が身につけているけれども知識・技能を活用することに課題があるようです。本校は、どの教科も国、県より15～35%程度高い平均正答率となっています。コミュニケーション能力の育成により、どちらの教科もA、Bとも同程度の正答率となっています。今後ともさらなる学力向上に努めるとともに、生徒一人一人の弱点を見つけ、その補強に努めていきます。

### 各教科の平均正答率（％）

| 国語   |      |      |      |      |      | 数学   |      |      |      |      |             |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------------|
| A問題  |      |      | B問題  |      |      | A問題  |      |      | B問題  |      |             |
| 国    | 県    | 本校   | 国    | 県    | 本校   | 国    | 県    | 本校   | 国    | 県    | 本校          |
| 75.1 | 76.0 | 91.1 | 65.3 | 65.7 | 86.4 | 64.6 | 64.9 | 86.5 | 43.3 | 43.3 | <b>80.0</b> |

### 本校の定着状況と課題

#### 国語

##### 【領域ごとの定着状況】

##### 国語A

| 領域        | 平均正答率(%) |      |             |
|-----------|----------|------|-------------|
|           | 全国       | 県    | 本校          |
| 話すこと・聞くこと | 74.2     | 74.0 | <b>94.8</b> |
| 書くこと      | 71.1     | 73.6 | <b>90.1</b> |
| 読むこと      | 76.6     | 77.0 | <b>93.7</b> |
| 言語事項      | 75.8     | 76.7 | <b>89.0</b> |

##### 国語B

| 領域        | 平均正答率(%) |      |             |
|-----------|----------|------|-------------|
|           | 全国       | 県    | 本校          |
| 話すこと・聞くこと | 45.6     | 47.7 | <b>90.0</b> |
| 書くこと      | 60.2     | 61.0 | <b>87.0</b> |
| 読むこと      | 67.5     | 67.7 | <b>86.0</b> |
| 言語事項      | —        | —    | —           |

- ・ A問題では、全国平均、県平均を20ポイント程度上回っており、どの領域も基礎的な力は定着していると考えられる。B問題でも、20ポイント程度上回っており、特に「話すこと・聞くこと」の領域では高い定着状況を示している。

### 【課題】

- ・選択式や短答式の問題では、高い正答率を上げることができるが、記述式の問題（特に「読むこと」の領域）に対応する力が不十分ではないかと思われる。多くの文章にあたることによって、その課題を克服させたい。また、言語事項の問題では90%以上の定着状況をめざしたい。

## 数 学

### 【領域ごとの定着状況】

#### 数学A

| 領域   | 平均正答率(%) |      |             |
|------|----------|------|-------------|
|      | 全国       | 県    | 本校          |
| 数と式  | 75.2     | 75.5 | <b>94.4</b> |
| 図形   | 64.3     | 64.7 | <b>84.6</b> |
| 数量関係 | 54.3     | 54.4 | <b>80.5</b> |

#### 数学B

| 領域   | 平均正答率(%) |      |             |
|------|----------|------|-------------|
|      | 全国       | 県    | 本校          |
| 数と式  | 43.2     | 43.6 | <b>82.3</b> |
| 図形   | 40.2     | 40.7 | <b>73.8</b> |
| 数量関係 | 45.5     | 44.9 | <b>84.0</b> |

- ・A問題では、数と式、数量関係の領域では、全国平均、市平均を差が20ポイント以上を上回っており、概ね計算力、表現力は定着しています。
- ・B問題では、A問題以上に両平均を上回っており、自ら考え、問題解決していく力も定着していると考えられます。

### 【課題】

- ・図形領域において、同位角についての知識があいまいであったのではないかと考えられます。定義や基礎知識を確実に押さえつつ、日常の事象に結びつくような課題を与え、問題解決の意欲を引き出す授業を考えていかなければならない。